

知られざる道北の森林と湖沼群

わかさかない

図
解

稚咲内砂丘林



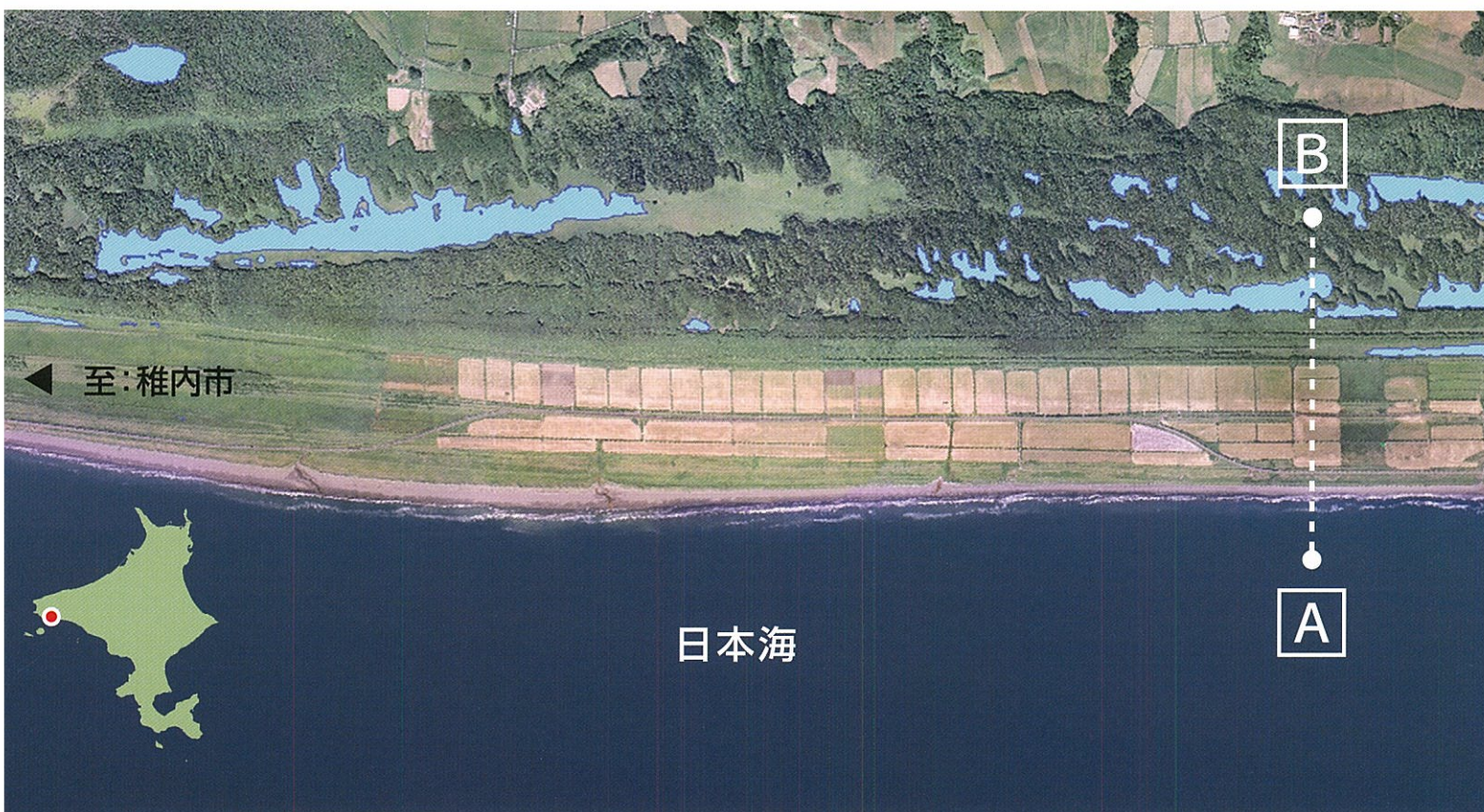
林野庁 北海道森林管理局

道北に残された宝石 稚咲内砂丘林

わかさかない

飛行機で上空から砂丘林を眺めると、森林の中に湖が点在してとても美しい景観であることに気づきます（下空中写真をご覧ください）。稚咲内砂丘林は約 25km × 2km の長細い国有林で、天然林の中に、沼が 100 個以上もあって独特の森林生態系を有しているのです。

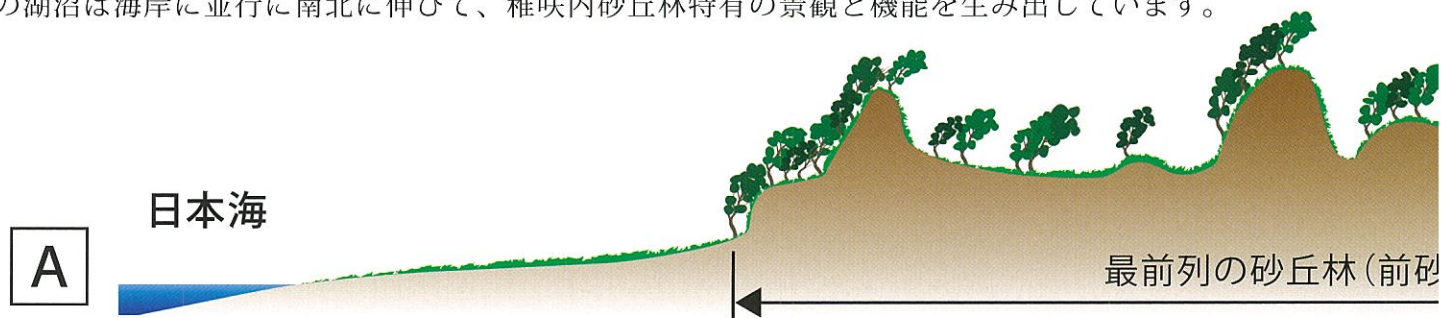
稚咲内砂丘林のような、海岸線に伸びる天然のトドマツ林は国内でもあまり例はありません。また、砂丘林の内陸側にはトドマツのほか、エゾマツと広葉樹からなる豊かな針広混交林が広がって



わかさかない 稚咲内砂丘林の断面

空中写真の A と B の箇所の断面（航空機レーザー測量による）

稚咲内砂丘林の断面を見ると、海岸線に並行に列状に砂丘が並んでいる（砂丘列といいます）ことが分かります。下の図で示すように、この砂丘の上には森林が生育しています。また、砂丘と砂丘の間（砂丘間といいます）には湿地や湖沼が発達しています。海岸に沿って砂丘列が発達しているため、多くの湖沼は海岸に並行に南北に伸びて、稚咲内砂丘林特有の景観と機能を生み出しています。



稚咲内砂丘林をご存知ですか？サロベツ湿原は知っていても、すぐ横の稚咲内砂丘林はあまり知られていません。車でサロベツ湿原から見ても、稚咲内砂丘林はあまり目立たないからです。

います。こうしたことから道北の生物多様性を考える上で大変重要で、奇跡的に保全されてきた宝石のような森林といえます。

このパンフレットでは、この稚咲内砂丘林で見られる景観と、砂丘林のはたらきについて紹介します。



サロベツ湿原から見た稚咲内砂丘林

至：豊富市街

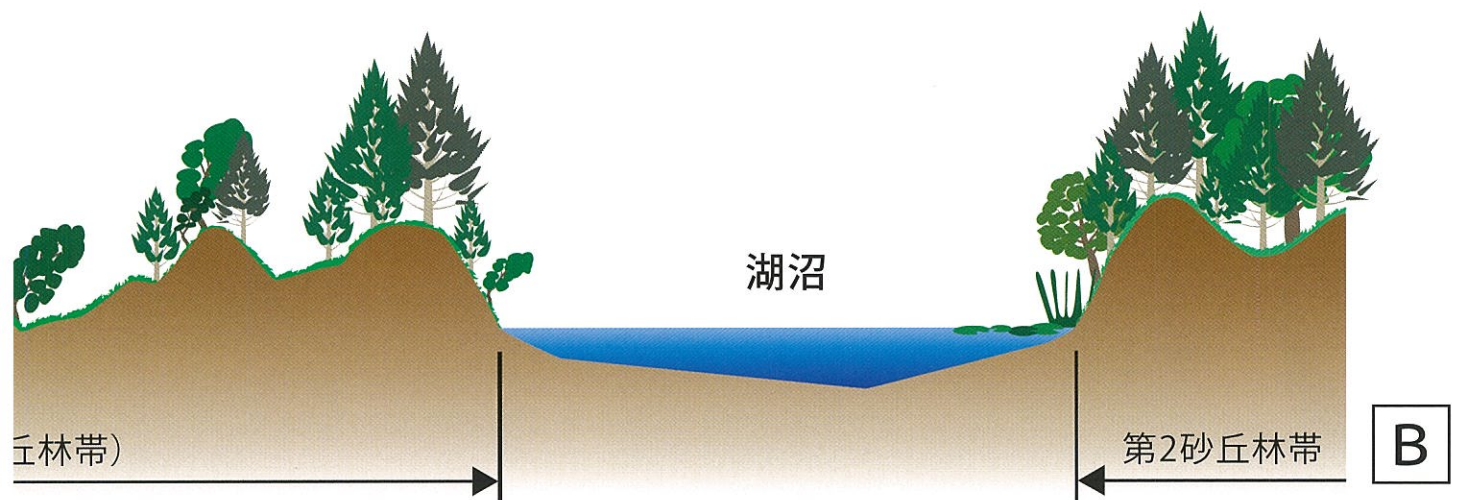
稚咲内市街地

至：天塩町

稚咲内砂丘林の空中写真（湖沼は青色で示しています）
空から見ると、海岸線に沿って伸びる森林と、湖沼が無数に存在することがわかります。



撮影：共立航空（株）



稚咲内砂丘林の景観

森林は、一番海側の砂丘列から順番に「矮化したミズナラ林」→「樹高 15m 程度のトドマツ林」→「成熟した針広混交林」と様相を変えていきます。海岸線に広がるトドマツの天然林、また、エゾマツが生育する成熟した天然林は国内では非常に稀で貴重な森林といえます。

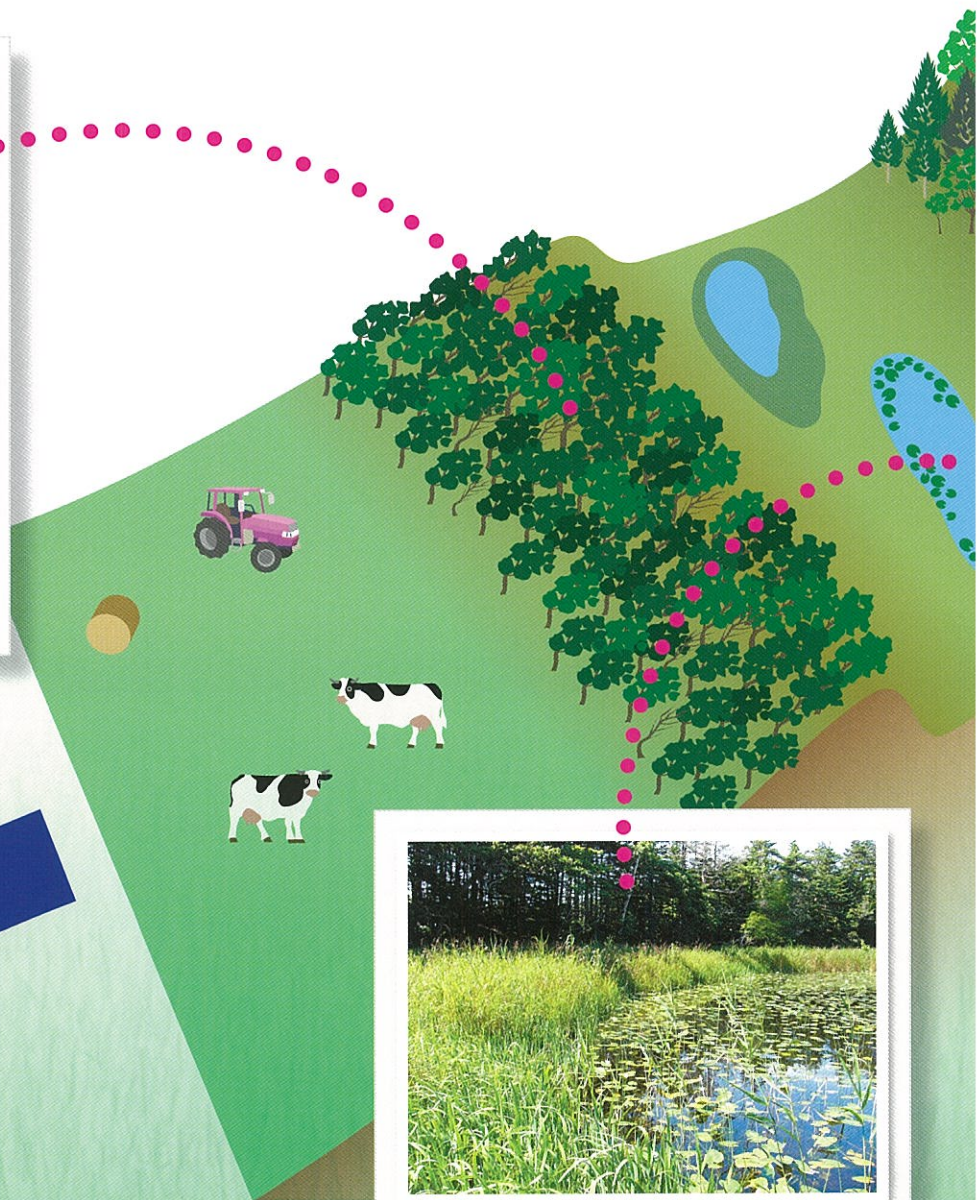
砂丘間に見られる湖沼や湿地は大きさや深さも様々で、人知れず砂丘間にひっそりと佇んでいます。湖岸には希少な湿原植生が見られ、これを中心として多くの野生動物や昆虫等が生息しています。

稚咲内砂丘林は、森林や湖沼そのものも貴重ですが、これらが複雑に絡み合った生態系も地域の生物多様性を守る上でとても貴重な存在です。

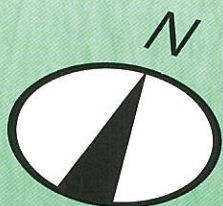


矮化したミズナラ林

海風にあたる最前列の砂丘林は、樹形が変形（矮化）しています。



日本海側



湿原植生の景観

湖沼の中や周囲にはスゲ類、ヨシ、ネムロコウホネ、フトイ、ジュンサイ等の貴重な湿原植生が見られます。

稚咲内砂丘林は砂丘列に森林が、砂丘間には湖沼や湿地が複雑に入り組んで、複雑で美しい景観を有しています。こうした特長は、日本国内では他に類を見ません。

内陸側



成熟した針広混交林

砂丘林の第3列目より内陸には、トドマツ、エゾマツ、広葉樹からなる成熟した針広混交林が見られます。



湖沼群の景観

稚咲内湖沼群には約170個もの湖沼が存在します。森林の中に無数の湖沼や湿地が存在し、独特の景観を有しています。

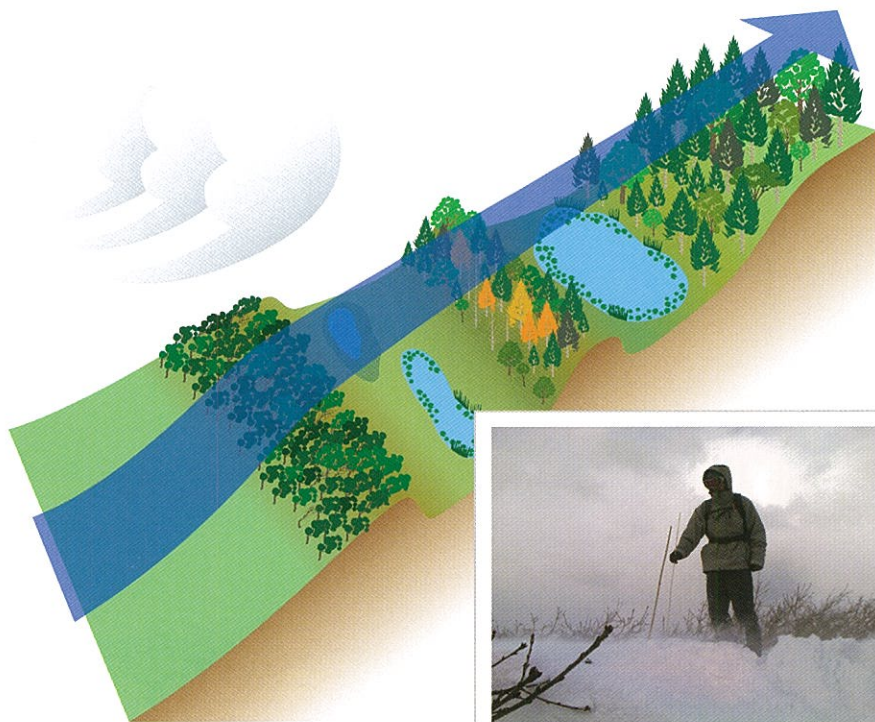


林床を覆う稚樹群

海に近い箇所のトドマツ林の林床には一面に稚樹が生えていて、次世代の森林となります。

わかさかない 稚咲内砂丘林の役割

海風の緩和



冬期の海からの強風で発生する地吹雪の様子。森林の中に入ると風がびたりと止みます。

前砂丘林帯は海からの強風を防いでいます。冬期でも、ひとたび砂丘林の中に入るとほとんど風を感じません。その結果、砂丘林内の内陸側では成熟した針広混交林が成立し、様々な動植物が生息します。また、内陸側への塩分の飛来を軽減し、人々の生活を守っています。

雪溜め効果



冬期、砂丘地形と砂丘林による沼群の水の重要な供給源で、植物に利用されます。また、もあります。

次世代に引き継ぐために

稚咲内砂丘林を管理する北海道森林管理局では、この貴重な生態系を次世代へと引き継ぐために、稚咲内砂丘林と湖沼群に関する調査を行っています。この調査では、主に湖沼群の水位・水質、森林の現況、湖岸植生、野生動物の生息状況等について調べています。

これまでの調査の結果、一部の湖沼では水位が低下し、富栄養化が進んでいるということがわかってきました。また、湿原周辺の植生には外来種が侵入し始めていることが分かっています。さらに、野生動物の調査結果からは、エゾシカの増加やアライグマの定着なども確認されました。北海道森林管理局では、必要な対策等について検討を行っています。

稚咲内砂丘林を形成する、砂丘地形、生育する森林、湖沼群は様々な機能を有しています。これらは複合的に関連し、森林に生息する野生動物のみならず、内陸の人々の生活にも役立っています。

希少動植物の生息の場として



前砂丘林帯の吹き溜まり。海風によって吹き飛ばされた雪が木々の間に溜まっています。



自動撮影装置によって記録されたヒグマ。豊かな森林の象徴ともいえます。

って雪を溜めます。これは湖結果的に湿原植生を育み、動内陸側の地吹雪を抑える効果

稚咲内砂丘林は、オオワシ、オジロワシ、ヒグマ、エゾクロテン等の希少動物の生息の場として利用されています。また、湖沼の水際には多くの希少な湿原植生が生育していることが分かっています。

このパンフレットで紹介した稚咲内砂丘林は、道北に残された国内でも唯一といえる景観を有する極めて貴重で、まさに「宝石」といってよい森林生態系です。北海道森林管理局は、今後もこの森林を次世代に引き継ぐための取り組みを実施していきます。





知られざる道北の森林と湖沼群

図解 稚咲内砂丘林

<製作・問い合わせ先>

林野庁 北海道森林管理局 計画部 指導普及課

TEL 011-622-5245

FAX 011-616-4021

北海道森林管理局HP <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

発行日 平成22年2月

表紙写真撮影 岡田 操